協同組合地盤環境技術研究センター（GETREC）主催
一般社団法人北海道環境保全技術協会　協賛

「サイト概念モデルによるリスク評価手法研究」に関する講演会

人為的な有害物質や自然由来重金属等が含まれる地盤に対する建設工事や不動産取引において、掘削土（ずり）の取扱いや、開発投資に対する障害が発生し、問題となる事例が増えています。このような問題に対応するため地盤環境技術研究センター（GETREC）では、「RBCA:リスクに基づく対策措置」の考え方が有効と考え、平成 16 年から RBCA に関する研究を開始するとともに、平成 19-20 年度には（社）北海道環境保全技術協会と「自然由来重金属問題に関する共同研究」を実施しております。他方、平成 20 年度に国交省予算によって活動を開始した、「建設工事における自然由来重金属等含有土砂への対応マニュアル検討委員会（嘉門委員会）」では、「サイト概念モデルによるリスク評価」が、今後の自然由来重金属等による問題の取扱いにあたっての重要なキーワードとして取り上げられています。「サイト概念モデルによるリスク評価手法研究」委員会は、この概念の普及と実際の取り組み方法を具体的に示すことを目的に、当組合が本年度取組んでいる研究活動であり、本講演会はこの活動の一環として北海道で催すものです。

主催：（組）地盤環境技術研究センター（GETREC）
協賛：（社）北海道環境保全技術協会、協力：（組）地盤環境技術研究センター北海道支部
日時：平成 21 年 9 月 18 日午後 1 時 30 分～午後 4 時 50 分
場所：三井住友海上札幌ＭＴビル（札幌市中央区北３条西２丁目６、札幌ＭＴビル 10 階会議室<90 席>）
参加費：一般---5000 円、 GETREC・道環協会員および公的機関の関係者---3000 円
配布資料：講演要旨資料集、リスク評価ソフト CD（GERAS、1DTRANSU）

＜講演内容＞
1）GETREC ご挨拶（木暮敬二理事長）　1330-1340
2）委員長挨拶（自然由来重金属問題についての最近の動向）　1340-1400
（五十嵐敏文・北海道大学大学院工学研究科教授 ）
3）環境リスクの評価と管理　1400-1450
（東海明宏・大阪大学環境・エネルギー工学専攻教授）
4）土壌・地下水汚染に関するサイト概念モデルとリスク評価について　1500-1550
（茨木希・オハイオ州立大学准教授）
5）土壌・地下水汚染リスク評価における GERAS の利用　1550-1640
（川辺能成・産業総合研究所主任研究員）
--各 50 分（質疑含）--
6）閉会ご挨拶　1640-1650

参加総数 76 名（会員：16 名、会員外：10 名、官庁関係：33 名、その他：4 名）

協同組合地盤環境技術研究センター（GETREC）主催による本講演会では、いずれも関心の高い講演題材が並び、会員企業のみならず、行政等各方面からの定員を上回る参加申込がありました。

当日受付の様子

＜GETREC 木暮理事長 挨拶＞

＜五十嵐委員長 挨拶＞

＜東海氏の講演＞

＜講演会場風景 1＞

＜茨木氏による講演＞

＜川辺氏による講演＞

＜講演会場風景 2＞